

長野県看護大学 履歴書・教育研究業績書 記入要領

1 共通事項

- (1) 年号は西暦、フォントは10.5ポイントのMS明朝体で記入してください。
- (2) 各項目について特記事項のない場合は、「事項」欄に「特記事項なし」と記入してください。
- (3) 書類は、印刷の上、氏名を自署したものを提出してください(押印不要・署名のコピー不可)。

2 履歴書(様式第1号)

- (1) 「氏名」欄は、戸籍上の氏名を記載してください。(勤務時には、旧姓使用も可能です。)
- (2) 「現住所」欄は、都道府県、市町村、番地まで記入してください。
- (3) 「連絡先」欄は、郵便物、電話等で連絡しても差し支えない場所の住所、電話番号を記入してください。
- (4) 「写真」は、上半身無帽で提出日の3ヶ月以内に撮影した横3cm×縦4cmの大きさのものを貼付してください。昇任申出の場合は、不要です。
- (5) 「国籍」の欄は、外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- (6) 「学歴」欄は、次により記入してください。
 - ア 高等学校卒業以上のすべての学歴について記入(研究生、聴講生を含む)。
 - イ 授与された学位及び称号と付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記し記入。
 - ウ 博士課程を修了して、まだ博士号を取得していない方は、「博士課程単位修得満期退学」と記入。
 - エ 医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、教員等の資格についても登録番号等を併記し記入。(外国における資格にあつては、資格内容を日本語で併記。)
 - エ 外国留学については、学生としての留学の場合は、「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入。
- (7) 「職歴」欄は、次により記入してください。
 - ア 職歴の全てについて記入し、職名、職位、主な担当授業科目等についても明記(自営業、家事従事、無職等も含む)。
 - イ 各職歴について、「〇年〇月～〇年〇月」と記入し、全職歴期間が続くように記入。現職については、「〇年〇月～現在に至る」と記入。
 - ウ 非常勤と常勤(専任)を区別して記入。
 - エ 過去における教員組織審査(大学等設置教育審査、教職課程認定委員会)において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位および担当授業科目の名称(大学院にあつては、判定結果を含む)を記入。
- (8) 「学会及び社会における活動等」欄は、次により記入してください。
 - ア 専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入。
 - イ 学会、国、自治体等の委員・役員等について記入し、在任期間を()で付記。
- (9) 「賞罰」欄は、勲章・褒章等の受賞のほか、学会や出版社等からの表彰、受賞等及び懲戒処分、研究費の不正受給等に係る処分等について記入してください。
- (10) 「現在の職務の状況」欄の「勤務状況」は、大学等の教員の方は、担当授業科目を、それ以外の職務に従事している方は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- (11) 外国人の場合は、母国語で作成し、和訳を添付してください。

3 教育研究業績書（様式第2号）

(1) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」欄について

- ア 「研究分野」欄は、平成29年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称又は「科学研究費補助金助成事業 審査区分表（総表）」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を参考に、研究分野の主なものを3つ以内
- イ 「研究内容のキーワード」の欄は、「系・分野・分科・細目表」の細目または「科学研究費補助金助成事業 審査区分表（総表）」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内

(2) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」欄について（共通事項）

- ア 「事項」は、各区分に該当する内容を簡潔に記入
- イ 「年月日」、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等
- ウ 「概要」は、当該事項に係る内容の概要のほか、活動における地位や役割、成果

(3) 「教育上の能力に関する事項」欄について

- ア 「1 教育方法の実践例」は、大学・大学院などの高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らしたわかりやすい授業の内容
- イ 「2 作成した教科書・教材」は、学生の理解を図るために作成し、また、授業や教職指導、研修指導などにおいて活用している教科書や教材
本欄に記載した事項が、「研究業績等に関する事項」に重複して記載する場合は、同一の内容を記載し、（再掲）と記入。
- ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」は、学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学から特に高い評価を受けた事例
- エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」は、大学から受け入れた実習生の指導、職能団体の依頼による研修指導、セミナー・公開講座・社会教育講座等の講師等の特記事項
- オ 「5 その他」は、上記に該当しない大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等、国家試験問題の作成等

(4) 「職務上の実績に関する事項」欄について

- ア 「1 資格・免許」は、医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの（登録番号と併せて記入）
- イ 「2 特許等」は、特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
- ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」は、病院等での臨床活動歴を具体的に記入するほか、大学との共同研究、企業提携・研究開発等の担当実績、各種審議会・行政委員会等の委員
- エ 「4 論文指導の実績」欄は、卒業論文、修士論文、博士論文の指導及び総件数
- オ 「5 その他」は、委員会活動を始めとする大学等の運営への参加状況のほか、上記に該当しない職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

(5) 「研究業績等に関する事項」欄について

ア 書類の作成時において発表済みの担当予定授業科目に関連する研究業績等

イ 「著書、学術論文等の名称」は、研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に区分し、各業績を発表順に通し番号を付す

ウ 「著書」は、著書名

エ 「学術論文」は、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名。学位論文については、その旨を明記。査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記入。

オ 「その他」は、外部助成金等獲得研究、翻訳、学会発表、書評、総説、調査報告等
外部助成金等は、現在進行中の表題・助成金名及び総件数

カ 「単著・共著」は、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修・編集・編著・共著・部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入。なお、学会発表等の場合は「単独」「共同」と記入。

キ 「発行又は発表の年月」は、当該著書等の発行又は発表の年月。

ク 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」について

① 著書については、発行所を記入。

② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記。

③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記。

ケ 「概要」について

① 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。

② 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要 (200 字程度) のほか、以下の事項を記入してください。

・ 本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ (本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入する)。

・ 本人の氏名 (下線を付すこと) を含む著作者全員の氏名 (多数にわたる場合は、主要な共著者の氏名を著書等に記載された順に記入する。)

(6) 「4 これからの教育研究に対する抱負」欄について

本学における教育・研究に対する抱負について自由に記入してください。